

ワークショップデザイン研修

ワークショップを効果的に
進めるファシリテーション

意見を引き出し
合意形成を
促すスキル



最近、ビジネスの場でワークショップを行って課題解決を目指したりプロジェクトの方向性を決めたりする機会が増えてきました。ワークショップが成功するかどうかを左右する条件のひとつとして、適切なファシリテーションの有無があります。ファシリテーターは、どのような点に気をつけながらワークショップを進めたらよいのでしょうか。より多くの建設的な意見を引き出し、そこから結論へと導き、納得感のある合意を取りつけることが重要です。ワークショップにおけるファシリテーターの役割について学んでいきましょう。

◎日時 基礎編：令和6年1月18日(木)13:15～16:15

応用編：令和6年2月7日(水)13:15～16:15

◎定員 各20名程度(先着順) ◎受講料 無料

◎対象 県民局職員・市町村職員・地域の担い手の方等

◎会場 十和田合同庁舎3階B会議室(十和田市西十二番町20-12)

※基礎編、応用編それぞれ単独での受講もできますが、両日の受講をお勧めします。

◎内容 裏面に記載

◎お申込 締め切り【基礎編】：1月12日(金) 【応用編】：2月1日(木)

講師

(一社)男女共同参画 地域みらいねっと 小山内 世喜子
代表理事/キャリアコンサルタント

宮城県出身。青森市在住。東海大学広報学科広報メディア課程卒業の後、民間会社で能力開発や社内報を担当。青森在住を機に、社会活動や調査関係の仕事やテレビ局コメンテーターなどを行う。

1995年、第4回世界女性会議NGOフォーラムに青森市の派遣団員として参加、2006年青森県男女共同参画センターの運営に従事、東日本大震災以後、防災と男女共同参画をテーマに安心できる避難所運営等に取り組む。内閣府男女共同参画局重点方針専門調査会委員、国立女性教育会館運営委員、NPO法人全国女性会館協議会代表理事、文部科学省ライフプランニング支援推進委員会有識者、大学での講師など数多く務める。ワークライフバランスやハラスメント防止講座、防災減災、女性支援や女性の人材育成、女性活躍推進などに力を注ぎ、県内外の市町村、県内企業、住民のみなさまを対象として500回以上の講演等の実績を持つ。



<お申し込み・お問い合わせ>

主催：上北地域県民局 担当：地域連携部地域支援チーム

〒030-1273 十和田市西十二番町20-12 TEL. 0176-22-8194

FAX. 0176-22-8198

申込方法は
ウラ面です

研修カリキュラム

基礎編 1月 18日(木)	応用編 2月 7日(水)
1 ワークショップとは ワークショップねらい・場づくり	1 ワークショップのファシリテーターに必要なスキル
2 ワークショップとファシリテーターの関係性 ファシリテーターの役割	2 ワークショップはつくり込みで決まる
3 アクティビティを使いこなそう	3 〔演習〕 さまざまな場面で実践してみよう
4 〔演習〕 ワークショップをデザインしてみよう	ワークショップの進め方 ファシリテーション 整理の仕方
5 ふりかえり	4 ワークショップ・デザインの力を高める
	5 ふりかえり

＜申込方法＞

以下の項目をメール本文に記入し、送信してください。

- ① 研修名 ワークショップデザイン研修
- ② 受講日 1月18日 基礎編 / 2月7日 応用編
- ③ 市町村名
- ④ 所属
- ⑤ 職名
- ⑥ 氏名
- ⑦ 連絡先 (TEL)

※上記の情報については、このセミナーに関する以外には使用しません。

送信先 上北地域県民局 地域連携部地域支援チーム
ka-renkei@pref.aomori.lg.jp

締め切り 【基礎編】 令和6年1月12日(金)
【応用編】 令和6年2月 1日(木)